

令和7年度事業報告

1 事業概要

我が国では、少子高齢化が進み労働力人口が減少する中、高齢となっても元気で働く意欲のある高齢者に対し生きがい就労を支援するシルバー人材センターの役割は、ますます大きなものとなっています。

昨年6月に発生した、イスラエルと米国によるイランへの攻撃によりホルムズ海峡が封鎖され、あらゆる物資が流通出来なくなり、その中でも日本の原油の輸入元は中東地域が95.9%を占めており、混乱が長期化する中、様々な分野に影響が出ております。ロシアによるウクライナ侵攻から原材料費の高騰が始まり、世界的にインフレが進行する中で食糧品やエネルギーなどの価格の高騰が続く、市民生活に益々影響が出ております。我々シルバーの就業の確保にも様々な影響が出ておりますが、構成市であります甲州市、山梨市をはじめ関係機関のご支援、ご指導のもと会員と役員が一丸となり事業拡大を図るべく諸施策を講じてまいりました。また、運営経費につきましては、国並びに両市の補助金を基盤として、事業を展開してまいりました。

当センターでも会員の高齢化が進み平均年齢は74.9歳、全会員に占める60歳台は19パーセントとなり益々高齢化が進んでいるため、公益法人として「法令遵守」を意識し適正就業ガイドラインに則り、会員の安全を最優先に考え就労配分を行ってきました。

包括的契約については、受注件数1,476件、就業実人員336人、就業延べ人員26,402人、契約金額では前年度並みの1億4,901万7,898円となりました。一方、労働者派遣事業では、請負からの切り替えや新規開拓により、受注件数は昨年度より1件減少し46件ですが、就業実人員は91人で5人増加、就業延日人員7,828人で昨年度より1,195人増加となりました。契約金額では前年度比28.3%増加し6,370万8,209円の実績となりました。

今後も、基本理念（自主・自立、共働・共助）を軸とし、会員、役員、事務局が一丸となって組織体制を充実させ、高齢者が有する経験と能力を活かして地域社会で活躍する場を提供し、これまでの社会への感謝を忘れず市民の皆様に信頼され、地域に根差した事業活動を実施して参ります。

事業の内容に関する詳細は次のとおりです。

2 事業実施内容

(1) 就業機会提供事業

① 雇用によらない就業機会の提供

高齢者にふさわしい地域に密着した仕事を一般家庭、民間企業及び公共団体等から引き受け、会員の能力、希望等に応じて請負又は委任という形式で会員に就業機会を提供しました。

包括的契約については、受注件数は68件減少しましたが、契約金額は前年度並みとなりました。

② 雇用による就業機会の提供

適正就業の推進を図るため、労働者派遣事業による就業機会の提供を行いました。労働者派遣事業については、前述のとおり前年度より 1,406 万 4,496 円（受注件数 1 件減）の増額となりました。

(2) 事業運営体制の充実

① 事業発展のため、全シ協、県連合会、県内の拠点シルバー人材センター等関係団体、また、構成市との連携を密にし、広域的な就業機会の開拓・情報収集に努め事業運営体制の充実を図りました。

② 全シ協及び県連合会等主催の研修会等に参加し、職員の資質向上を図りました。

③ 会員拡大については、広報誌等を通じた会員募集や随時入会受付を行い入会促進に努めました。しかしながら、65 歳までの雇用確保義務及び 70 歳までの就業確保努力義務等により、65 歳未満の入会者が少ないことと加齢等による退会者が一定数いましたが、年度末会員数は昨年並みの 393 人となりました。

(3) 就業機会の確保と開拓

① 会員、役職員が一体となり、就業方法及び就業場所の開拓を検討し就業機会の増加を図りました。

② 就業開拓推進員による甲州市、山梨市の事業所、一般家庭など 2,870 件を訪問したり、5,020 件のポスティングチラシの配布を行った結果、新規受注開拓件数 102 件と前年度並みの成果を上げることができました。

また、既に受注している事業所等には継続のお願いも実施し、就業の確保と就業率の向上に努めてきました。

③ 就業を希望する高齢者を対象に就業相談を実施した結果、相談件数は 89 件（前年比 8 件減）の実績がありました。

④ すべての会員に就業の機会を提供できるよう、就業中の会員に理解と協力を求め、ローテーションやワークシェアリングを進めました。

(4) 農作業（果樹栽培等）への積極的支援

地場産業である果樹栽培における農業の担い手の減少と高齢化の進行が果樹農家の将来に大きな課題となっている状況のなか、地域の担い手として農家の就業を行いました。一方、農作業の出来る会員が限られており、受託できない状況が課題として残っております。

(5) 福祉・家事援助事業への積極的参加

福祉・家事援助サービス事業の現状を踏まえ、更なる受注の増大に備え、質の高いサービスを提供するため、行政と連携を図り的確な把握に努めました。

(6) 安全・適正就業の推進

- ① 会員の安全就業の推進と健康管理についても常に助言を行い、また安全委員会を開催するとともに連合会主催の研修会にも積極的に参加し、安全委員会を通じて組織的に安全就業の推進を図りました。
- ② 安全・適正就業パトロールを実施し、また、安全就業推進啓發文書を発行し、安全適正就業の推進を図りました。
- ③ 熱中症の注意喚起や気象情報等、情報が速やかに伝わるよう、ショートメール等を利用しながら安全確保に努めました。

(7) 普及啓発活動の推進

- ① 高齢者の就業促進や適正な就業維持を図るため、「シルバー人材センターだより」を発行し、管内の全戸及び事業所等に配布しました。また、構成市の広報誌を活用して会員募集の周知を図りました。
- ② シルバー事業への信頼と理解が得られるようチラシ等配布し、一般家庭、事業所、官公庁に対し本事業の意義と理念及び仕組み等を周知するとともに高齢者自身の本事業に対する意識啓発にも努めました。

(8) 社会参加活動の推進

地域社会を支える担い手として、公共施設の除草や清掃のボランティア活動を実施しました。

3 総会・理事会の開催

定款に定める当センターの事業目的に沿って運営できるよう、次のとおり開催しました。

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| (1) 定 時 総 会 | 令和7年5月30日(金) | 甲州市民文化会館 |
| (2) 第1回理事会 | 令和7年5月13日(火) | 甲州市役所 |
| 第2回理事会 | 令和7年9月16日(火) | 甲州市役所 |
| 第3回理事会 | 令和8年3月11日(水) | 甲州市民文化会館 |